

今年度の新たな取り組み

1) 生産性向上(≒時間外労働削減)を実感するための運用基準の再構築●働き方改革のための5つの運用基準(通称“5(ファイブ)ルール”)の**改正とパッケージ運用**①「**土木工事書類省力化ガイド**」の改正

- ⇒・名称変更：旧「土木工事書類簡素化の手引き(案)」
- ・現場からの意見を反映し、解釈に齟齬が出ないような具体的な表現や明言へ

②「**いきいき現場づくり**」の改正

- ⇒・建協との意見交換等を参考に、“工期末の第4・四半期集中”を改善する策を追記

③「**設計変更ガイドライン(工事)**」の改正

- ⇒・現場からの意見等を反映

④「**土木工事施工条件明示の手引き**」の改正

- ⇒・施工中で発生しうる変更も想定した当初設計条件の積極的な記載

⑤「**工事一時中止に係るガイドライン**」の改正

- ⇒・現場からの意見等を反映

●5ルールの理解と適正運用を促す「**工事の適正執行のための勘所**」の作成

- ⇒・「5ルール」の運用上、特に重要な事項&現場での留意・配慮事項等を見える化

●変更設計の支援策として「**工事図書等作成支援の手引き**」の作成

- ⇒・発注者が作成すべき工事変更図書について、やむを得ず発注者自ら作成できない場合の対応策を新たに整理

1

2) 現場の認識と運用徹底のためのブロック説明会（キャラバン）

- 対面により発注者等がおかれている現状（品確法、労基法等の社会情勢の変化等含む）等も含め、「工事の適正執行のための勘所」等による5ルール適正運用の徹底を図る
- キャラバンは発注者、受注者の双方に実施（開催方法は地域毎に調整）

3) 2024問題に特化した“OODAループ”による集中管理“

- 期間限定(～来年度末)で、例えば出張所長・建設監督官の代表者と連携してOODAループ(※)を構築
前述のブロック代表者と企画部_担当官のweb会議等による情報共有
- 5ルールの周知や運用状況、改善点などの情報収集と必要により迅速なフォロー

※：OODA=Observe_「観察」、Orient_「状況判断」、Decide_「意思決定」、Act_「行動」
スピーディかつ状況に合わせた柔軟な対応が可能

2